

派遣職員から

熊本地震発生後、市では6月1日から8月31日まで計6人の職員を熊本市に派遣し、現地で家屋の被害調査認定を行っています。

派遣職員が見た熊本市の現状と防災・減災の心構えをお伝えします。



派遣記～その2～

熊本市東区の被災家屋の調査では、建物の被害は建築年度や改修状況により大きく異なっていると感じました。

中でも古い瓦屋根の建物に多くの被害が出ていて、屋根の重量が重いと建物に対する被害も大きいように考えられます。また、瓦の落下やズレが生じたために雨漏りなどの2次被害をもたらしていました。

被害を受けてからの改修や建て替えは、費用が高額になるだけでなく、人命に関わる危険もあります。熊本は地震が来ないと思われていたそうですが、高い防災意識と知識を持ち備えることが重要だと思いました。

○建築住宅課 前野奈々



屋根全体に被害の出た家屋(熊本県熊本市)
【本人撮影】

派遣記～その1～

熊本市では、家自体が傾き取り壊すしかない家、瓦がずれて雨漏りしてしまう家、家財が散乱しているが高齢者の一人暮らしで一向に片付かない家など、地震の残した多くの爪あとを目にしました。

「地震が起こらない」ということが一番いいのは間違いないですが、特に南海トラフ地震に関しては起こること自体は確実で、後はいつ起こるかという問題だと思います。

地震が発生してからできることはほんのわずかで、地震が起こるまでに何をするかで地震対策のほぼ全てだと私は思っています。地震が起こる前の今だからこそ、少しずつ備えを進めなくてはならないと感じました。

○税務課 伊藤達夫



外壁が落ち、ブロック塀も倒壊した家屋
(熊本県益城町)【本人撮影】

安心ひろめる

火災、防災情報(気象情報)、不審者、犯罪情報、無線放送情報など各種情報をメールで配信するサービスを行っています。配信希望者は次のアドレスに空メールを送信してください。

toroku@mrc.gamago
ri.aichijp



ヤフー防災速報

アプリやメールで災害情報を入手できます。(市は平成25年

6月19日付で「災害に係る情報発信等に関する協定」を締結しました)

【登録方法】

スマートフォン、携帯電話で登録方法が異なります。

ヤフー 防災

検索

防災行政ラジオ

防災行政ラジオは6千300円で販売中です。(ただし、平成24年5月1日以降に蒲郡市に転入してきた方には、平成24年4月30日で終了した助成金を適用して千円で販売します)

また、アンテナやACアダプタの販売も行っています。詳しくは、防災課へお問い合わせください。

突然おとずれる災害。恐れるのでもなく、諦めるのでもなく、予想される災害を知り、それに立ち向かう備えやできる限りの防災・減災について考えましょう。



©2010熊本県くまモン#K24099